

科目名	【講義】就労支援におけるケアマネジメント	方法	講義	時数	60 分
-----	----------------------	----	----	----	------

1. 本科目のねらいと獲得目標

【獲得目標】

ケアマネジメントの概念を理解したうえで、職業生活を支える支援の方法について学ぶ

【ねらい】

- ・就労支援は、個人の幅広い就労に関するニーズを把握し、その生活全体からとらえ直し、支援に必要な社会資源の調整、連携、更には新たな開発をも目指すものであることを理解する
- ・就労支援の基本的な流れを概説する中で、ご本人を中心とした支援のあり方を実現するための視点について理解する

2. 本科目の展開について

就労支援におけるケアマネジメント

1. ケアマネジメントの定義と援助の内容（5 分）

2. ケアマネジメントのプロセスを振り返る（30 分）

(1) インテーク（ニーズの把握）

問題の総括的な把握をし、本人との信頼関係を構築するための重要な場面

○相談支援専門員

【インテークの流れ】

【場面で留意点】

(2) アセスメント（ニーズの具体性）

本人の心身機能の特性とそれを取り巻く環境条件の状態を全体的に把握する場面

○相談支援専門員

【情報収集の内容】

【関係機関からの情報収集】

【サービス管理責任者との情報共有】

○サービス管理責任者

【情報収集の範囲】

- ・ 個人特性の把握
- ・ 地域や職業生活の環境の把握

【情報収集の方法】

【留意点】

(3) プランニング(支援計画の作成)

本人の生活（人生）を踏まえた視点での支援計画の作成

○相談支援専門員

【基本的な視点】

- ① 必要な社会資源の調整
- ② 希望に対する目標の設定
- ③ 関係機関との連携体制
- ④ 本人と支援機関の役割を明確化

【サービス管理責任者等との確認事項】

○サービス管理責任者

【基本的な視点】

- ・ 個人特性へのアプローチ
- ・ 取り巻く環境へのアプローチ
- ・ 相談支援専門員との連携
- ・ 本人主体のプラン作成

(4) インターベーション(支援の実施)

○サービス管理責任者

【職業準備訓練】

【職場開拓と就職のあっせん】

【定着支援】

【留意点】

(5) モニタリング(支援状況の観察)

○相談支援専門員

【モニタリング内容等の確認】

【場面での留意点】

○サービス管理責任者

【モニタリング内容等の確認】

【留意点】

(6) エバリュエーション(事後評価)

【エバリュエーションの目的】

【エバリュエーションの活用方法 等】

3. サービス管理責任者と相談支援専門員の連携について（10 分）

(1) サービス管理責任者と相談支援専門員の役割

(2) 連携評価ツールの活用

4. 就労支援におけるサービス管理責任者の視点について（10 分）

(1) 基本的な視点

(2) ライフマネジメントからの視点(生活支援としての就労支援)

(3) エンパワメントの視点

(4) 権利擁護の視点

(5) 連携・調整の視点

(6) 新たな雇用機会や社会資源開発の視点

(7) 包括的な定着支援やフォローアップの視点

(8) ご本人中心の視点

5. サービス管理責任者と相談支援専門員の連携について（10 分）

(1) サービス管理責任者と相談支援専門員の役割

(2) 連携評価ツールの活用

5. 支援者に求められるもの（5 分）